

## コロラド州：小麦作柄と気象状況

2003年6月10日

2003年6月8日現在：

6月10日に終わる1週間の平均気温は平年を下回った。州東部では降雨が有り特に東南地区では雷を伴った豪雨が記録された。州平均農作業日数は4.4日(前週：6.3日)であった。州全体の土壌水分はTopsoil並びにSubsoil共に前週より改善し、Subsoilの水分はVery short:16%、Short:37%、Adequate:41%、Surplus:6%となった。

冬小麦は96%が出穂し、昨年(94%)及び5年平均(92%)より早い進捗を示した。作柄は昨年並びに平年(5年平均)より良好と評価された。6月1日付けUSDA発表の冬小麦の生産量予想では、単位収量は33.0bu/acre(昨年実績：22.0bu/acre)、収穫面積予想は2,200,000acres(昨年実績：1,650,000acres)、生産量予想は72,600,000bu(昨年実績：36,300,000bu)と昨年の倍となっている。

土壌水分：2003年6月8日現在

	Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	5	14	69	12
Subsoil (%)	16	37	41	6

冬小麦生育状況：2003年6月8日現在

	2003	2002	5-yr Average
Headed (%)	96	94	94

小麦作柄状況：2003年6月8日現在

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter wheat (%)	3	7	17	56	17

Source：コロラド州農業統計局 (Colorado Agricultural Statistics Service)

コロラド州冬小麦作付面積の推移：2003年3月31日付けUSDA発表

	2001 Crop 1000 acres	2002 Crop 1000 acres	2003 Crop 1000 acres	2003/2002 Percent
作付面積	2,350	2,350	2,600	111

2003年6月1日付け農務省冬小麦の生産量予想：

Colorado	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				May 1	June 1		
	1,650	2,200	22.0	30.0	33.0	36,300	72,600

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : Email [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)